



No.21 2008. 11

news

BIZ 島田節子

400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

～暮らし美人・BIZの会 レポート～

：紅茶の会： 御主人を亡くされてから学び始めた紅茶の道。見るも楽しく美しい沢山の備品と、手焼きのお菓子を持参されてのレッスン。単に紅茶のハウツウに留まらない心と言葉の気配りに、生活の中で忘れていた事を思い出し学ぶ事も多かった。



～ 紅茶の会 ～

：琵琶の演奏 & 古代食パーティー： 蝋燭の光の中で琵琶の音が響く。時に重く、又時には哀し気で不気味に 700 年前の物語が語られる。ごくお若い時に耳にした琵琶の音に恋してしまったという演奏者は住職夫人。大ぶりの薩摩琵琶での語りは力強く、渋い。琵琶の刺繍の帯にきりっとした和服姿。お人柄は明るくほっとさせてくれる。お料理お助けスタッフはフードコーディネーター (BIZ NEWS 6 号のエネルギー美人)。食べ物だけでも全 10 品。料理は島田なんぞに任せてはおけない、と全部作ってくれた。優しい味で美味しい！。パーティー中、琵琶にさわったり、話しを聞いたり、次々出される料理の内容を確かめたりと皆楽しそう。

「次回には着物を着て聴く平家物語を」とリクエストされたが、あのような料理は確約できない。どちらの会も翌朝“ありがとう”の電話がいくつもよかった、よかった。



～ 琵琶演奏
清水えみ子氏 ～



～ 現代風にアレンジされた
古代食 ～



～ 和やかに
パーティー ～

～ “良く生きる” って？ ～

デーケン先生の本に“良く生き良く笑い良き死と出会う”というのがある。ところで今の私の生活。心にとめ考える。そこから出る諸々の事。それらが次々と押し寄せる。こうありたいと願う内容が適正かどうかは分析する知力に乏しいので思うままにしている。と、波及的に雑多な仕事を生み出す結果になり、限られた頭と身体は飽和状態を超えている。

私の作品を求められる方は、より手のこんだデザイン性のある物に心ひかれるらしい。初めての方だったりすると“いいの？”と思わず聞きたくなる。“突起し過ぎないデザイン”など思いやる必要もなかったのだ。人はそんな物の前はサラリと通り過ぎ（とはいえ世間的には充分个性的）充分過ぎる位、とんがった物の前で歓声をあげる。

この所、注文で制作する事も多くなってきた。仕上がった品を前にしてのお客様の喜びの言葉の数々は、大きな励ましと支えになっている。その方のイメージをどのようにジュエリーに反映させるか。凝り過ぎないように注意していても凝ってしまう。(但し、凝っている事は表面に出ず、さりりとしている事が望ましい) その課程は辛くもあるが、やはり断然楽しい。余りに夢中になってふと不安になり足許を見たりする。舞い上がって地に足がついていないのでは、と。それでもやはり悩む。私のデザイン性はどうか。

長い休暇が欲しい。何も考えず、水の音、風のを聞き空を眺め、本を読みバツハを聴く。これが私の理想の生活！ デーケン先生いかがでしょうか？

～ 深い森 ～

エメラルドはもろくかけやすい
この深い森のような大きな緑のかたまり
危険を犯しても創ってみたいくなった
深い森にも道はある。その先の道は暗くそして時折
光が輝いてこぼれる



本体：エメラルド^レ原石 84.44ct
ルビー^レ 0.53ct
ダイヤ 0.022ct
ネックレス：スピネル^レ・ピオンクアム^レスト
ロードライトカーネット

「国際宝飾展・東京」(1/21～24)
来春、高島屋個展を検討中。
但し、制作は進行。